

- 問1 2010年における四国地方の農業産出額の統計（総額3,942億円）において、産出額が1,324億円に達し、全体の3割以上を占めていた品目はどれですか。（2025年 宮城県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|-------|-------|------|
| 1. 野菜 | 2. 畜産 | 3. 果実 | 4. 米 |
|-------|-------|-------|------|
- 問2 岡山県から山口県にかけての瀬戸内海沿岸部における工業の特色について、正しい説明はどれですか。（2018年 沖縄県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 高速道路のインターチェンジ付近に、小型で軽量の集積回路（IC）を製造する「シリコンアイランド」が形成されている | 2. 石油精製所や化学工場が港湾周辺に集まり、互いにパイプラインなどで結ばれた石油化学コンビナートが形成されている | 3. 情報通信技術（ICT）を活用したソフトウェア開発や、バイオテクノロジーなどの先端産業が生産の中心となっている | 4. 自動車の組み立て工場が内陸部の広大な土地に集中し、日本最大の工業生産額を誇る工業地帯となっている |
|--|---|---|---|
- 問3 高知県で野菜の農業産出額が非常に高い主な理由と、その栽培方法の名称として正しい組み合わせはどれですか。（2021年 埼玉県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 標高の高い地域の冷涼な気候を利用して、野菜の出荷時期を通常より遅らせる「抑制栽培」が盛んだから。 | 2. 広大な平野を活かして、大型機械を導入し米と麦を交互に育てる「二毛作」が盛んだから。 | 3. 温暖な気候を利用して、ビニールハウスなどで野菜の出荷時期を通常より早める「促成栽培」が盛んだから。 | 4. 大都市への近さを活かして、収穫から消費までの時間を短縮し鮮度を保つ「近郊農業」が盛んだから。 |
|---|--|--|---|
- 問4 山口県の瀬戸内海沿岸において、化学工業の製造品出荷額が突出して多い理由として、地理的条件の観点から説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2023年 群馬県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 瀬戸内海特有の少雨で温暖な気候が、精密機械の組み立てや薬品の乾燥工程において最適な環境を提供したため。 | 2. 水深の深い良港に恵まれており、原料となる原油を積んだ大型タンカーの入港や、製品の海上輸送に極めて有利であったため。 | 3. 急峻な地形を利用した水力発電による安価で豊富な電力が得られ、電力を大量に消費する化学反応工程に適していたため。 | 4. 広大な干拓地が古くから塩田として利用されており、そこから得られる工業用塩が化学工業の主要な原料となったため。 |
|--|--|--|---|
- 問5 香川県などの瀬戸内地方の地形図を確認すると、平野部に「〇〇池」と記された小さな水域が数多く点在していることがわかります。これらの施設がこの地域に多く作られた理由として、最も適切なものはどれですか。（2023年 群馬県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|----------------------------------|
| 1. 台風による大雨が多いため、河川の氾濫を防ぐ貯水池とするため | 2. 年間降水量が少なく、稲作に用いる水を確保するため | 3. 急峻な地形を利用して、小規模な水力発電を行うため | 4. 瀬戸内工業地域において、大量に必要な工業用水を確保するため |
|----------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|----------------------------------|
- 問6 四国地方に位置するある県は、2016年の統計においてレモンの収穫量が全国の20.8%を占めており、広島県に次いで国内第2位の産地となっています。この県として正しい名称を答えなさい。（2020年 長野県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 高知県 | 2. 徳島県 | 3. 香川県 | 4. 愛媛県 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問7 日本の農業において、農家の経営改善を目的に栽培品目の転換が行われることがあります。ある地域での統計によると、レモンは1kgあたりの平均価格が約439円、10アールあたりの生産量が3200kgである一方、労働時間は123時間となっています。これに対し、みかんは平均価格が223円で労働時間は199時間、不知火（しらぬい）は平均価格が344円で労働時間は202時間となっています。これらの数値を比較した際、レモンを導入する利点として最も適切な説明はどれですか。（2020年 長野県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 他の品目と比較して、平均価格が高いだけでなく生産量も多いため、少ない労働時間で高い収益が期待できる点。 | 2. みかんよりも1kgあたりの平均価格は低いものの、労働時間が大幅に短縮されているため、人件費を抑えた経営ができる点。 | 3. 1kgあたりの平均価格は他のかんきつ類と同程度だが、生産量が圧倒的に多いため、大量出荷による市場独占が狙える点。 | 4. 不知火よりも労働時間が多く必要とされるが、生産量と平均価格のバランスが良いため、売上額を最大化できる点。 |
|--|--|---|---|
- 問8 1988年に、岡山県と香川県を島々を伝って結ぶ「本州四国連絡橋（児島・坂出ルート）」が完成しました。これにより本州と四国が陸路で直接結ばれ、物流や人の移動が劇的に変化することとなりました。この時に開通した橋の名称として正しいものを選びなさい。（2018年 鹿児島県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------|----------|---------|-----------|
| 1. 青函トンネル | 2. しなみ海道 | 3. 瀬戸大橋 | 4. 明石海峡大橋 |
|-----------|----------|---------|-----------|
- 問9 地形図上に引かれた二地点間の高低差を垂直方向の断面で示したものを断面図といいます。標高332.4mの高尾山があるA点から、等高線のほとんどない境港港付近のB点に向かって直線を引いたとき、その直線上における地形の断面の様子を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2017年 和歌山県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------------------------------|---|---|---|
| 1. A点からB点に向かって、中央部が大きく凹んだ盆地のような形状が続く。 | 2. A点からB点まで、標高の変化がほとんど見られない一定の高さの台地が続く。 | 3. A点付近は平坦な土地が広がり、B点に近づくにつれて標高が高く斜面が急になる。 | 4. A点付近は標高が高く斜面が急で、B点に近づくにつれて標高が下がり平坦になる。 |
|---------------------------------------|---|---|---|
- 問10 1985年から2015年にかけての四国地方と他地域間の交通手段の変化をまとめた統計において、かつて主要な移動手段であった船舶の利用割合が激減し、代わって自動車の利用が急増して全体の過半数を占めるようになりました。このような交通の変化をもたらした最大の要因として、最も適切なものはどれですか。（2020年 鳥取県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 四国全域を網羅する新幹線網が完成したことにより、鉄道と自動車の連携による移動が普及したこと | 2. 瀬戸大橋をはじめとする本州四国連絡橋が相次いで開通し、本州との陸上交通網が整備されたこと | 3. 環境保護の観点から瀬戸内海での大型船舶の航行が厳しく制限され、物流の主役がトラックへ移行したこと | 4. 格安航空会社（LCC）の参入によって航空機の利用料金が下がり、船舶から航空機への転換が進んだこと |
|--|---|---|---|
- 問11 九州地方の最北端に位置する福岡県北九州市は、海を隔てて本州と隣接しており、交通の要所となっています。この北九州市から見て、対岸の本州側の最西端に位置する県はどこですか。（2017年 長野県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 山口県 | 2. 福岡県 | 3. 広島県 | 4. 島根県 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問12 中国地方の瀬戸内海沿岸に位置する広島県の県庁所在地について、国の出先機関や民間企業の支店が多く集まり、その地方の政治・経済を支える役割を持つ都市の分類として最も適切なものを次から選びなさい。（2016年 岐阜県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------|--------------|---------------------------|-----------|
| 1. 地方中枢都市 | 2. 首都圏機能分担都市 | 3. 政令指定都市（ただし、地方中枢都市ではない） | 4. 工業指定都市 |
|-----------|--------------|---------------------------|-----------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 野菜	四国地方の農業は、高知県を中心とした野菜の生産が非常に盛んである点が特徴です。2010年のデータでは、野菜の産出額が総額の33.5%を占めており、果実（みかんなど）や畜産、米と比較しても最大の割合となっています。これは、温暖な気候を活かした高付加価値な農業が展開されていることを示しています。
問2	答え 2 石油精製所や化学工場が港湾周辺に集まり、互いにパイプラインなどで結ばれた石油化学コンビナートが形成されている	瀬戸内海沿岸の臨海部では、輸入した原油を精製する工場と、その製品を原料として加工する工場などが集まる「石油化学コンビナート」が多く見られます。これは瀬戸内工業地域の大きな特徴です。シリコンアイランドは九州、日本最大の工業生産額は中京工業地帯の説明であり、瀬戸内工業地域は重化学工業が盛んな地域として知られています。
問3	答え 3 温暖な気候を利用して、ビニールハウスなどで野菜の出荷時期を通常より早める「促成栽培」が盛んだから。	高知県は、南部の高知平野を中心に、黒潮がもたらす温暖な気候を最大限に利用しています。冬でも暖かい気候を活かし、ビニールハウスなどでピーマンやなす、きゅうりなどの夏野菜を冬から春にかけて栽培し、他の地域より早い時期に出荷する「促成栽培」が行われています。この方法は、野菜の価格が高い時期に市場へ供給できるため、農業産出額を押し上げる大きな要因となっています。一方で「抑制栽培」は長野県や群馬県などの高冷地で見られる手法であり、高知県の特色とは異なります。
問4	答え 2 水深の深い良港に恵まれており、原料となる原油を積んだ大型タンカーの入港や、製品の海上輸送に極めて有利であったため。	山口県を含む瀬戸内海沿岸に化学工業や鉄鋼業などの重化学工業が発達したのは、波が穏やかで水深の深い港を確保しやすかったことが最大の要因です。化学工業は原料となる原油のほぼ全量を海外からの輸入に頼っているため、大型船が直接接岸できる臨海部は輸送コストを抑える上で非常に有利な条件となります。このように、輸入原料に依存する「加工貿易」を基盤とした日本の工業において、山口県の沿岸部は理想的な立地条件を備えていました。
問5	答え 2 年間降水量が少なく、稲作に用いる水を確保するため	瀬戸内地方は、北側の中国山地と南側の四国山地に挟まれているため、季節風が運ぶ湿った空気が遮られ、年間を通じて降水量が少ないという気候的特徴があります。特に夏の乾燥による水不足を防ぎ、稲作に必要な農業用水を安定して供給するために、古くから多くの「ため池」が作られてきました。
問6	答え 4 愛媛県	愛媛県は、瀬戸内海に面した温暖な気候と、日当たりの良い傾斜地が多いという地形的条件を活かし、古くから柑橘類の栽培が盛んに行われてきました。みかんの主要産地として知られていますが、近年ではレモンの生産量でも全国上位に位置しており、広島県と共に国内の主要な産地を形成しています。
問7	答え 1 他の品目と比較して、平均価格が高いたくなく生産量も多いため、少ない労働時間で高い収益が期待できる点。	農業経営の改善においては、単に売上を伸ばすだけでなく、労働力に対してどれだけ効率的に収益を上げられるかが重要です。統計数値を比較すると、レモンはみかんや不知火といった他のかんきつ類に比べて、平均価格が高いたくなく生産量も多いという特徴があります。さらに、栽培や管理にかかる労働時間がこれらよりも少ないため、単位時間あたりの収益性が非常に高くなり、農家の経営効率を大幅に高めることが可能になります。
問8	答え 3 瀬戸大橋	1988年に開通した瀬戸大橋は、岡山県（本州）と香川県（四国）を結ぶ道路・鉄道併用橋です。この開通により、それまで船舶に頼っていた本州と四国間の交通が劇的に改善されました。同じ1988年には北海道と本州を結ぶ青函トンネルも開通していますが、こちらは橋ではなく海底トンネルです。明石海峡大橋は1998年に開通した兵庫県と淡路島を結ぶ橋です。
問9	答え 4 A点付近は標高が高く斜面が急で、B点に近づくにつれて標高が下がり平坦になる。	地形図において等高線の間隔が密である部分は傾斜が急であることを示し、間隔が広い、あるいは等高線がほとんどない部分は平坦な土地であることを示します。標高約332mの山地であるA点から港のあるB点へ向かう場合、断面図では始点が高く、終点に向かって急激に下がり、その後、海に近い平坦な線が描かれることとなります。
問10	答え 2 瀬戸大橋をはじめとする本州四国連絡橋が相次いで開通し、本州との間の陸上交通網が整備されたこと	1988年の瀬戸大橋開通を皮切りに、神戸・鳴門ルート、尾道・今治ルート（しまなみ海道）といった本州四国連絡橋が次々と整備されました。これにより、それまで船舶に頼っていた本州への移動が、自家用車や高速バス、トラックなどの自動車中心へと劇的に変化しました。この変化は「陸続き」になったことによる利便性の向上を象徴しています。
問11	答え 1 山口県	本州の西端に位置する山口県は、関門海峡を挟んで九州地方と向かい合っています。北九州市にとっては本州への入り口、山口県にとっては九州への入り口として、古くから人や物の往来が盛んな地域です。選択肢にある広島県や島根県も中国地方の県ですが、九州と直接接しているのは山口県のみです。
問12	答え 1 地方中枢都市	広島市は、中国地方全体を統括する国の行政機関や民間企業の支店が集中しており、この地方の政治・経済の中心地となっています。このような都市は「地方中枢都市」と呼ばれ、他にも札幌市、仙台市、福岡市などが該当します。また、広島市は1980年に政令指定都市にも指定されています。